

## **配布資料① 君津市社会教育委員会議検討資料**

### **地域の活性化、教育の向上に資する**

#### **これからの君津市の社会教育について**

#### **～これまでの社会教育委員会議での議論のまとめ（案）～**

### **本検討資料について**

現在、君津市教育委員会では、社会教育施設再整備の基本方針作成と、(仮)君津市社会教育施設整備検討委員会設置に向け準備を進めています。

今年度、社会教育委員のみなさまから、社会教育の向上、施設再整備等について貴重なご意見、ご示唆をいただいているところです。

これまでにいただいたご意見、ご示唆を、以下のように整理しました。

### **1. 社会教育施設再整備の必要性について**

君津市では 1971 年の市制施行前後から今日まで、公民館、図書館、資料館、スポーツ広場など、各社会教育・文化施設の整備が進められ、これらの施設は、市民の学習、文化、交流の拠点として、また、健やかな心と体を育む拠点として、大きな役割を果たしてきた。

現在、全国的に人口減少、少子高齢化、人間関係の希薄化などが大きな課題となる中で、人口減少を食い止め、地方創生を図ることは国家的な命題であり、君津市にとっても、大きな課題となっている。

2014 年 12 月には、地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、具体的な推進策である「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定された。

ビジョンには、地方創生が目指すべきものとして「地域に住む人々が、自らの地域の未来に希望を持ち、個性豊かで潤いのある生活を送ることができる地域社会を形成すること」とあり、社会教育にも大きな期待が寄せられている。

これからの君津市が、誰もが安心して健やかに暮らすことのできる都市として成長するために、社会教育もより一層大きな役割を果たす必要があり、新たな視点で、時代の状況を見据えた事業展開などの工夫も求められる。

一方、施設面では、耐震化、老朽化などの課題があり、今後の施設再整備の検討が必要だが、それには、社会情勢に鑑み今まで以上に効果的、効率的な施設整備の視点が重要である。

これらの視点で、君津市の社会教育の向上に、事業、施設両面での早急な検討が必要である。

## 2. 君津市社会教育の状況と課題

君津市の社会教育の状況と課題は以下のようにあげられる。

### ① 事業と利用状況について

各社会教育施設の利用者数は近年横ばい、もしくは、若干の減少傾向にある。人口減少も大きな原因と考えるが、今まで以上に、より多くの人に開かれた社会教育事業の展開、取り組みの工夫などが求められる。

### ② 施設について

社会教育施設全体を見ると、誰でも安全・安心に使える施設という点で、耐震化、老朽化、バリアフリー等の対策が必要施設について、早急な検討、着手が必要である。

## 3. 社会教育施設再整備を検討する際の基本的な視点

より充実した社会教育の展開、安全で安心な施設整備に向け、事業、施設両面での検討が必要である。

これまでも、君津市の社会教育は、地域、時事の状況に即する社会教育事業を展開してきたが、あらためて次の点を、事業展開における社会教育全般の共通的な視点に置くことが重要と考える。

- ① 市民の誰にも開かれ、地域に根ざす視点と広く全国的な視点をあわせ持ち、時事、社会の状況を見据えた社会教育
- ② 地域の特色を生かし、地域・学校とともに地域教育・文化向上に資する社会教育
- ③ 機関の特性を發揮し、連携と協力による幅広く、奥の深い社会教育
- ④ 地域の人と人の交流のみならず、地域を越えた人・地域と地域との交流促進の拠点ともなる社会教育
- ⑤ 子どもたちの健やかな成長や市民の活力増進などに資する社会教育

## 4. 各機関についての今後の検討における視点

### (1) 事業面

各社会教育機関の事業展開については、施設利用者、広く地域住民等の声を真摯に受け止めながら、関連審議会等で検討するものであるが、大局的な点で、これまでに加えて、あるいはより一層、次の視点を置くことが重要と考える。

### 【主に公民館について】

- ・ 地域とともにある学校づくりにおける身近な地域窓口としての機能、人的ネットワークの構築、人材育成、
- ・ 地域を大切にする視点と、地域を越えた人・地域と地域との交流促進、
- ・ 高齢者の活躍の場

### 【主に図書館について】

- ・ 市民の生活や学びを支えるために継続的な資料や情報の提供
- ・ 企業等にも役立つ視点
- ・ 分室などにおける地域の状況に沿う資料収集、活用、継承

### 【主に資料館について】

- ・ 貴重な地域資料の収集、保管、展示、調査・研究の継続的な展開
- ・ 君津市・地域に密着した視点での事業

### 【主にスポーツ施設について】

- ・ 市民が、生涯にわたって気軽にスポーツを楽しむことができる環境の醸成

## (2) 施設面

### ① 市民の学び・活動を支え、安全、安心に利用できる施設整備の検討

耐震化、老朽化対策等は喫緊の課題である。これらの対策が必要な施設については、ファシリティ・マネジメント等の状況を勘案し、かつ次のような視点を大切にしながら整備の検討が必要と考える。

- ・ 市民の主体的な学び・活動を支える社会教育施設として望ましい整備
- ・ 誰もが安全・安心に利用できる施設として望ましい整備

### ② 柔軟な視点での検討

耐震化、老朽化対策などの解決に向けた整備について、改築、既存施設転用、複合など様々な方法を柔軟かつ多面的に検討し、効率的な施設整備を行うことが必要と考える。

### ③ 教育機関の役割を効果的、安定的に果たすことのできる運営の検討

運営面の検討にあたっては次の視点が重要と考える。

- ・ 地域活性、教育の向上に資する社会教育を効果的に展開することができる運営
- ・ 社会情勢の変化の中でも、即時的に役立つという視点だけにとらわれず、

教育機関としての役割を安定的に果たすことのできる運営

## 5. 今後の整備の具体的な検討について

今後（仮）「君津市社会教育施設整備検討委員会」の設置にあたり、検討委員の構成について、次の視点が重要である。

- ・社会教育に詳しい人、社会教育とは異なる分野の人などが両方含まれ、幅広い視点で、さまざまな検討ができること
- ・若者や、有効な施設整備について建築関係者など、斬新なアイデアも歓迎すること